

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成 29 年 11 月 20 日 NO.18 (147)

11月20日の全校朝会で！その1

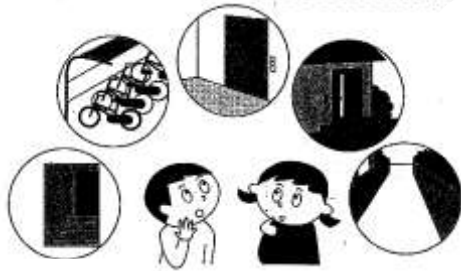
先日、見守り会の森久保会長さんが、地域防犯協会の講習会に参加され、たいへんわかりやすい資料が配布されたということで、学校で増す刷りし地域の見守り会の方々にお渡ししてきました。中身を拝見すると、子供たちにとっても大変よい内容でした。そこで、全校朝会にて、そのイラストなどを用いて安全な登下校についてお話ししました。全校朝会での様子をお知らせすると共に、ご家庭でも話題にさせていただき、安心と安全な学校づくりにご協力していただければ幸いです。

①ひとりにならない！



大切な自分の心や体をしっかりと守るために、どうしたらよいのでしょうか。様々な視点から考えてみましょう。まず、子供にとって、一人にならないという環境づくりがとても重要です。地域の人達の間や大人の目があることにより、安全が確保されます。子供たちと一緒に、どうしたら一人にならない考えてみましょう。

②ひとりになるとき、どんなとき？



子供が成長し大きくなるに従い、子供の行動範囲が広がり、どうしても「一人になる」瞬間が生まれるものです。その時こそ、最も気をつけなければならない時でもあります。場所や時間にとらわれず、「一人になる」瞬間はどんな時でしょうか。自宅のすぐ前や階段、さらに細い道路や、見通しの悪い場所など、気をつけなければならない所はいっぱいです。

③まわりをよくみる、よくきく



まわりに意識を向けることは、危険をよせつけず、万が一の時、対処を早めるための大切な「予防力」です。特に自宅周辺など、慣れている場所は、心や体に隙が生まれやすくなるので、注意がとても必要です。まわりを意識するために、「だるまさんがころんだ」などの首を体操をするとよいでしょう。それを習慣化させ安全への意識を高めよう。

④さわられない、つかまれない！



あいさつをすることは、とても大切なことであり、人間同士のコミュニケーションづくりには欠かせません。しかし、相手がどんな人でも、手が届かない距離をとることが重要です。さわられない、つかまえない距離を保つことに心がけないものです。但し家族は別です。なお、家族同士でもきちんと挨拶ができる家庭は最高です。花丸❀丸です。

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文
平成 29 年 11 月 20 日 NO.19 (148)

11月20日の全校朝会で！その2

子供の安全を真剣に考えてくれる大人がいます。しかし、とても悲しい事に、世の中には悪い考えをもった大人もいることは事実です。もし、そんな大人から、「カードあげるよ。」「子猫を見に行こう。」「おかし食べない？」等のお願いが誘いがあったら、しっかりと「できません・いりません・いやです！」と断りましょう。

「にげる」は、自分で決めてよいことです。もし、「こわい！」「いやだ！」と感じたら、助けてくれる人がいるところまで思い切りダッシュして走りきることが大切です。自分がよく通る道や、おでかけする友達のところなど、いつも助けてくれる人がいるのかを確認しておきましょう。ピーポ君のおうちの確認を！

危険からは、「にげる」が一番です。そのとき、まわりの人がいるようであれば、声と体を使って「たすけて！」と大きな声で伝えましょう。声と体を使って伝えることは、とても効果的です。また、普段から、不安なことなどを、周りの大人たちに伝えられる環境づくりも欠かせません。

防犯ブザーは、にげる時や助けを呼ぶときに、とても役立つアイテムです。ランドセルやカバンなど、すぐに手の届くところにつけておきましょう。また、時々電池の確認も忘れずしておくことが大切です。国立七小では、低学年の保持率はよいのですが、学年が上になるに従い、持っていない子供が多いようです。

安全ブザーの保持率（持っていないものも約15%ありました。点検よろしく!）

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
保持率	89%	87%	71%	76%	46%	44%

⑤できません・いりません・いやです！



⑥にげる



⑦たすけてとつたえる



⑧身をまもるあんぜんブザーをもとう!



たいせつ じぶん ところ からだ まも
大切な自分の心や体をしっかりと守りましょう。